

い業研究所

農林水産省いぐさ育種指定試験地

沿革

- 昭和11年 熊本県農事試験場い草試験地創設(八代郡千丁村)
- 昭和24年 花鑑指導所設置(八代郡千丁村)
- 昭和28年 熊本県い業指導所設置(花鑑指導所廃止、場所は同上)
- 昭和30年 八代園芸指導所設置(八代市)
- 昭和33年 八代農業経営試験場設置(八代郡鏡町)(熊本県い業指導所、八代園芸指導所を廃止。経営部を新設)
- 昭和39年 農業試験場八代支場に改称、経営部は廃止
- 昭和45年 熊本県い業講習所を併設
- 昭和53年 熊本県い業講習所を閉所
- 平成 元年 農業研究センターに統合、い業研究所及び農産園芸研究所野菜栽培・特産部八代研究室に改組
- 平成 2年 いぐさ育種指定試験地に指定され、育種部を新設
- 平成 4年 農産園芸研究所野菜栽培・特産部八代研究室を農産園芸研究所野菜部八代研究室に改称
- 平成 5年 研究本館、研修館、作業棟、ガラス温室等の整備完了
- 平成15年 「部」を「研究室」へ改称。育種部、栽培部を統合し、育種・栽培研究室を設置、作付体系研究室を新設(農産園芸研究所野菜部八代研究室を廃止)



い業研究所略地図



〒869-4201

熊本県八代郡鏡町鏡村 363

TEL (0965)52-0372

FAX (0965)52-7993

<http://www.pref.kumamoto.jp/kikan/nouken/>

<mailto:noukenigyou@pref.kumamoto.lg.jp>

★時代のニーズを踏まえ、より効率的かつ効果的な試験研究の推進を図るため、平成15年4月組織の一部が改編されました。

※イグサ生産の流れ※

イグサは、通常株分けで増やします。

良質の苗を多量に確保するために、本田一作につき二回増殖します。



一次苗(畑苗)

12月末～1月頃、畑に植え付けます。翌年、本田の収穫が終わった頃に掘り採り、二次苗床へ移植します。



二次苗(八月苗)

7月下旬～8月下旬水田に植え付け、約4ヶ月間、育てます。



掘り取り後、株分けしたイグサの苗

育種・栽培研究室



イグサの花初夏の早朝に咲きます。

ジーンバンク

国内外のイグサ品種・系統を絶やさないよう育成・保存しています。



イグサ新品種の創出

人工交配などにより、よりよい新品種作りを進めています。



原苗の配布

栽培農家へ原苗の配布を行っています。

新品種の特性把握

有望な品種について、生育や収量、品質などを調査するとともに、最も適した栽培方法を探ります。



輪作体系に関する試験

イグサの生産に有効な作物を探し、イグサ経営に最適な輪作体系の確立を目指します。



本 田

11月下旬～12月下旬に植え付け、充分に茎を増やし伸びたところで、翌年の6月中旬～7月中旬頃、収穫します。



加工(選別及び製織)

収穫されたイグサは、長短の茎が混在しているため、5～6段階の長さに選別します。

選別されたイグサは、製織を容易にするため、適度の水分を与えられ、畳表織機により製織されます。



気象要因による
イグサの生育変動対策

気象データとイグサの生育を分析し、その年の作柄を発表しています。

新しい肥料、農薬などのイグサに対する適性を調査します。

イグサの茎を食害するイグサシンムシガについて、飛来数を調べ、発生の量と時期を予測します。



加工研究室

畳表の品質を低下させる
黒変色茎の特性解明と発生
防止

畳表の敷き込み後に現れる黒変色茎の発生要因とその除去方法について検討を進めています。



多 少
黒変色茎

奨励品種、有望品種の
材質改善、加工特性解明

イグサ特有の泥染めを必要としない有望品種の選定、および奨励品種「ひのみどり」の作期と材質の関係を明らかにします。



イグサ・畳表の材質調査

イグサの用途拡大を目的として、洋間に適する置き畳のデザイン開発

畳表の需要低迷を向上させるために、現在のライフスタイルにあった洋間向けのイグサ製品を開発しています。



作付体系研究室

～沿岸水田地域における野菜作付体系の確立～

熊本県の沿岸水田地帯における年間を通じた作付体系について、研究を行います。
また、施設野菜栽培での省力的で高品質・安定生産できる技術の開発もあわせて進めています。

1. 水田を利用した作付体系の研究

水田地帯での農業経営の基幹となる品目の選定及び作型や施設装備等の作付体系について検討しています



新規導入可能な作物として有望なソラマメ

2. イグサ転作や干拓地域に対応した露地野菜の導入・調査

3. 施設栽培における高品質安定野菜生産技術

施設内で栽培される野菜（トマト、メロン等）について高品質な品物を安定生産するための技術について研究しています



遮根シート利用による簡易隔離床栽培での高糖度トマト栽培

4. 施設栽培における省力化技術の確立

イチゴ、トマト等の施設栽培野菜を省力的に栽培できる技術について研究しています



地床栽培イチゴの生産安定技術の開発

位置・地形・気候・土壌

所在地 八代郡鏡町鏡村 363 番地

地形 平坦、三角州性低地(旧干拓地) 標高3m

気候 年平均気温16.5℃ 年間降水量 1,750mm 土壌 細粒グライ土(三隅下統)

R100